

くらりあ

Vol. 3

- 倉吉棟2階リニューアルオープン！
- 治療のお話『パニック症』
- すまいるはあとまつり～みんなに笑顔を～
- 私のお勧め『自然の中で過ごす楽しみ』
- 倉吉棟3階リニューアル！**ストレスケア病棟オープン！**

倉吉棟2階リニューアル・オープン



食堂・テイルーム

病室(障子設置)

廊下

生活機能訓練室

今年4月から倉吉棟病棟の改修工事が始まりましたが、まずは2階病棟を終えることができました。
7月8日に4階病棟の患者さんにお引越しいただき、無事にリニューアル・オープンいたしました。

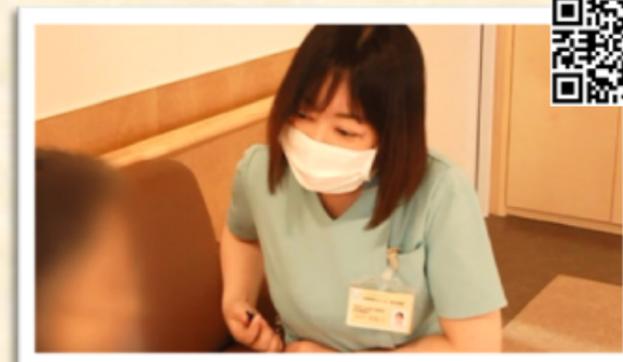
<倉吉棟2階病棟> 認知症治療病棟 60床(現在50床稼働中、11月に60床に変更予定)
病室：観察室2室、個室22室、4床室9室

インフォメーション

TCC鳥取中央有線放送にて
シリーズ「認知症について考える～もしかして認知症?～」が放送されています。
過去の放送はQRコードを読み込んで視聴できます。



第1回 5月19日放送
「認知症疾患医療センターについて」



第2回 8月4日放送
「認知症の症状とケア」



作品『東京五輪掲示板』
新聞記事を貼り合わせまとめました



デイケア音楽クラブ
コロナ禍での取り組みとして“多重録音”に挑戦中！
楽器の音色や歌声を個別で録音し、
一つの楽曲として編集集中！乞うご期待！！



「仁」それは
敬愛をもって、
接するところ

社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地
ホームページ <https://www.med-wel.jp/kurabyou/>
電話(代表) (0858) 26-1011
FAX (0858) 26-4794

外来アゼリア (0858) 26-1088
精神科デナイトケア (0858) 26-4887
地域連携室 (0858) 26-1190
認知症疾患医療センター (0858) 26-1015



治療のお話

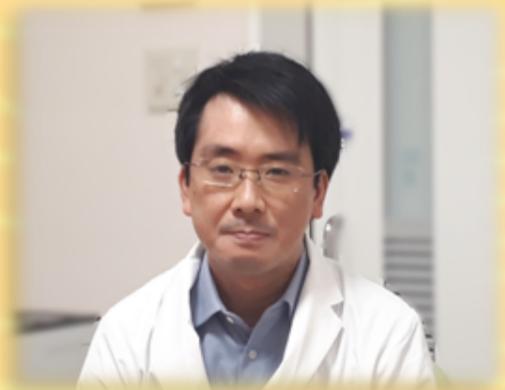
パニック症

今回は^{ふくだひろやす}福田裕康医師がパニック症について解説いたします。

パニック発作は、前ぶれなく、動悸などの強い身体症状が数分～数十分続き、恐怖をもたらします。一度経験すると、またどこかで起こりそうだという不安のために、行動が制限されるようになります。幸田露伴の娘の幸田文もパニック症をわずらっていたようで、本邦の生涯有病率は約1%と、珍しくない疾患です。それでもやはり、経験がない人に話しても分かってもらいにくく、仕事や生活で支障をきたすため、自信喪失やうつ状態、アルコール依存、家庭不和に陥ることも少なくありません。

さて、パニック症では、自律神経発作・恐怖・不安の低減が望まれます。これら3つとも、大脳辺縁系の活動で生じるものです。SSRIと呼ばれる薬は、大脳辺縁系の活動が過剰にならないよう耐性をつくることにより、抗不安薬は、大脳辺縁系が鎮まるよう促すことにより、発作を短く、恐怖と不安を軽くする助けになります。

しかし、軽症となっても平均7年かそれ以上長引く方が多いのが現実です。そこで、しかたのないものとして付き合う心持ちが大切です。発作は夕立ちのように、いずれ何事もなかったかのように止みます。焦らずに、まずはゆっくりと長く、息を吐きながら、やり過ぎしてみてください。



自然の中で過ごす楽しみ

私のお勧め

2回目は倉吉棟2階病棟スタッフの^{まるやま みなみ}丸山美洋さんです。日頃は介護福祉士として患者さんのケアにあたっておられます。

田中先生に続き私が書くのはとても恐縮ですが、書かせて頂きます。私には特にこれといった趣味もなく本を読む事も苦手で、日頃読むものといえば地域の情報誌を読んでいます。子供が保育園から持って帰ってくる子育て世代向けの情報誌には子供と楽しめるイベント情報、グルメ情報、コロナ禍の中でできる遊びなど色々な情報が掲載されていて地域の情報誌を見る事は私の中の小さな楽しみとなっています。



～ 琴浦町 鳴り石の浜より ～



最近の休日はコロナ禍ということもあり何処にも出かけられず子供達と近所の海で魚釣りをしたり山に行きクワガタ捕りをしたりしています。私の子供はまだ小学生ではないですが、子供会に参加させて頂きじゃが芋を育てて収穫したりラジオ体操にも参加させて頂いたりと以前とは違った遊びや体験ができるようになるのが今後は楽しみです。自然の中で過ごす一日は子供の成長を感じたり、大きな発見があるのも楽しみのひとつです。



倉吉病院初！【オンライン×リアル】 すまいるはあとまつり ～みんなに笑顔を～

倉吉病院で「みんなに笑顔を」を合言葉に、『すまいるはあとまつり』を開催しました。全病棟、デイケアをZOOMでつなぎ、手話で坂本九さんの「明日があるさ」に挑戦。「みなさん、聞こえますか〜！」と新しくリニューアルした倉吉棟2階から職員のギター、カホンのリズムに合わせて、明るく楽しく行いました。兼子院長からのメッセージでは、ZOOMでの映像と音声ではあったものの、患者さんを勇気づける言葉もありました。各病棟をゆかた姿のちんどん屋が回り、事前に収録した『えんかまさかず』と職員で結成したバンドグループ『MIT』の歌動画、更には病棟ごとのイベントがまつりを盛り上げました。職員が一丸となって創り上げた「祭りの雰囲気」を患者さんに提供できたことで、患者さんそして私たち職員も笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。



倉吉棟 3階 リニューアル!!



倉吉棟 3階 精神科急性期治療病棟が8月28日にリニューアルオープンしました。
壁や天井、床、空調、給排水等の設備がきれいになり雰囲気も大幅に変わりました。

- 倉吉棟 39床 (個室9室、2床室1室、4床室7室)
- 中央棟 21床 (個室5室、4床室4室) … ストレスケア病棟
当面は11床 (個室3室、4床室2室) のみ使用いたします。



くす玉割り

5・4・3・2・1 オープン!

ストレスケア病棟
詳細は裏面をご参照ください。



病室 (4床室)
間に仕切り壁が入り
より個別空間で
療養いただけます



食堂

木のぬくもりが感じられ
落ち着いた空間になりました



スタッフステーション

食堂側から見たようす
日中はカウンターオープン



病室 (個室)

窓は雪見障子
家庭の雰囲気が漂います



ストレスケア病棟 オープン



中央棟 個室

ゆったりと療養いただけます



中央棟 4床室

スライド扉を閉め個別に療養いただけます

私たちは学校や会社など社会生活の中で、人間関係や仕事・学業などのプレッシャーなどによる様々なストレスを感じながら生活しています。ストレスによって心身が不調な時には、しっかり休養することが必要となります。このたび新たにオープンしたストレスケア病棟は、プライバシーに配慮し、人目を気にせずゆったりと過ごすことができる個室タイプのお部屋を用意した病棟です。病室には雪見障子を用いるなど落ち着いた雰囲気となっています。神経症やうつ病などのストレス関連疾患の方にリラックスできる環境の中で療養していただきながら、それぞれ医療の専門職が精神療法・薬物療法・作業療法・認知行動療法などの集中的な治療を行い、そしてその回復の過程をしっかりとサポートしてまいります。このストレスケア病棟のオープンにより「心の疲れを癒す」快適な療養空間と医療サービスの提供を目指してこれからも努力をしております。どうぞよろしくお願いいたします。



廊下

ゆったりと落ちついた雰囲気



浴室

家庭に近い個別浴室



4床室窓から見た景色

遠くに大山も見えます

